

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

胆石症診療ガイドライン 2021 改訂第 3 版

日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本胆道学会・胆道症診療ガイドライン委員会（作成委員長 藤田直孝 みやぎ健診プラザ）

南江堂、2021 年 11 月 15 日 改訂第 3 版発行

■1 茵陈蒿湯

疾患：

肝内結石

有効性に関する記載ないしその要約：

『BQ3-(3)-1 肝内結石症の治療にはどのようなものがあるか？』に対して、解説に下記の記載がある。

『薬物療法として、胆汁中のコレステロール飽和指数を低下させて結石生成を抑制するスタチン製剤や胆汁酸量を低下させるフィブラート系薬剤、胆管炎・胆汁うっ滞を改善させる UDCA などの胆汁酸製剤、胆汁酸非依存性に胆汁分泌を増加させて肝内結石生成を抑制する茵陈蒿湯、糖蛋白を分解して色素石を溶解するシステイン系薬剤などがあるが、いまだ確立した薬物療法は報告されていない。』